

平成 27 年度政策討論会第二分科会要点記録

- ・日時 平成 28 年 1 月 18 日
- ・場所 第 1 委員会室
- ・会議時間 15 : 00 ~ 16 : 40
- ・出席者 座長 岡林 憲二
副座長 金子 拓矢
稲田 悦治
井上 博
今口 千代子
岩崎 雅秋
烏野 隆生
米田 貴志 (五十音順)

・今回の狙い 本分科会のテーマは、「岸和田の観光におけるインバウンド観光客の取り込みについて」である。今回は、岸和田商工会議所、岸和田市観光振興協会、本市観光課からインバウンドに関して知識を有する担当者を招聘し、今後の本会においてより一層の議論を深める為に、各組織はインバウンド観光客の取り込みについてそれぞれどのように取り組んでいるのかにつき説明を受けた。

発言要旨（本会のテーマ及び今回の目的に沿う発言を抜粋。発言順序による。）

① 岸和田市観光課

現状として、堺市以南の 9 市 4 町で構成している泉州観光プロモーション推進協議会と協調して対応している。岸和田市単体での取り組みは特段していない。

同協議会では新関西国際空港株式会社と一体になって、関西空港を利用する外国人観光客等に泉州地域を観光・周遊してもらえよう取り組みを行っており、平成 27 年度までは初動期とし「泉州を知ってもらう」ことに注力している。

今年度の取り組みとして、9 月末にメディア関係者、ブロガー、旅行雑誌社を招聘した。また、台湾からの訪日客に絞り込みをかけ PR 活動を行っている。11 月に旅博に参加、12 月に現地百貨店や大型書店、旅行会社で PR 活動を行った。

他には、泉州観光 PR サポーターとして四名の留学生に協力して頂いたり、Y o u T u b e を利用した動画配信のため、各地で撮影中である。

今後の課題として、W i F i 整備、外国人留学生の活用、体験型観光の企画立案があり、宿泊については、民泊実施エリア等を検討中であるとともにホテル誘致条例の準備中である。大阪観光局への働き掛けも大切だと考えている。岸和田独自の取り組みも行っていく。

② 岸和田市観光振興協会

現状として、泉州プロモーション推進協議会、岸和田市、大阪観光局との連携しているほか、日中、日韓等国際交流団体とも連携して取り組んでいる。

四か国語案内板、四か国語観光パンフレットとマップ、泉州おもてなしマニュアル（指差しシート）の配布、設置を行っている。ファムトリップやプレスツアーを受け入れたり、大阪観光局主催の商談会にも参加して本市の売り込みを図っている。

今後の取り組みとして、少ない予算ということもあり選択と集中による事業展開が必要である。台湾をターゲットにしていく。ボランティアガイド等の人材育成や情報発信の強化、観光資源の発掘等が必要であるが、特に無料公衆無線の充実には力を入れたい。

③ 岸和田市商工会議所

現状として特段の取り組みはしていない。

今後の取り組みとして、だんじり祭りに集中しての本市PRが必要であり、そのおもてなしに力を入れなければいけない。

以上